

信仰によって見渡す世界

創世記一三章

主はアブラムに言われた。「さあ、あなたは自分が今いる所から北、南、東、西を見回しなさい。見渡すかぎりの地を、私はあなたとあなたの子孫に末永く与えよう。」(14、15)

財産問題を解決するために、一緒に生活していたアブラハムと甥のロトは分かれて暮らすことになりました。ロトに良い土地を譲ったアブラハムに対して、主が語られたのが今日の聖句です。アブラハムが見渡す限りの地を与えようという約束でした。ロトは低地を見つめ、自らの決断でそれを選び取りました。神はアブラハムにもっと高きを見上げるように促したのです。神が与えようとしておられる祝福は、私たちの視界に収まるような小さなものではなく、地平線の彼方にもまで広がるような大きなさを持つているからです。私たちはもっと視線を上げなければなりません。神は私たち一人ひとりの人生の上に、大いなる祝福を与えようとしておられるお方です。アブラハムと共に、信仰の目を高く上げようではありませんか。私たちが見渡す地を神は与えてくださるのですから。